

インフルエンザ(2025年第46週)疫学情報 《コメント》

2025年第46週の定点当たり報告数は37.73(患者報告数145,526)となり、前週の定点当たり報告数21.82よりも増加した。都道府県別では宮城県(80.02)、埼玉県(70.01)、福島県(58.54)、岩手県(55.90)、神奈川県(55.12)、秋田県(54.60)、千葉県(53.47)、群馬県(52.16)、栃木県(49.60)、山形県(47.05)、東京都(44.75)、北海道(44.01)、茨城県(43.94)、京都府(41.55)、兵庫県(40.57)の順となった。全国47都道府県中、46都道府県では前週の報告数よりも増加し、1都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,466例であり、前週(888例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(72例)、1~4歳(292例)、5~9歳(282例)、10代(141例)、20代(26例)、30代(22例)、40代(27例)、50代(45例)、60代(90例)、70代(188例)、80歳以上(281例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第42週～2025年第46週)では、AH3亜型が151件(86%)、AH1pdm09が19件(11%)、B型が6件(3%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。